

## 学校の沿革

昭和 22年	4月	学制改革により小奴可村立小奴可中学校創立
23年	7月	新校舎落成（普通教室5、特別教室3）
30年	4月	町村合併により東城町立小奴可中学校に校名変更
32年	12月	校歌の制定
38年	12月	現在の新校舎落成
43年	11月	屋内運動場および冬季寄宿舎落成
47年	8月	小奴可地区学校プール完成
59年	4月	文部省の体力づくり推進校の指定
平成 17年	3月	市町合併により庄原市立小奴可中学校に校名変更

生徒数の減少などにより、小奴可中学校が3月末で休校になります。

昭和22年開校以来、62年間で2,995人の卒業生を輩出してきました。

子どもたちの学び舎として、地域コミュニティの拠点として、さまざまな役目を果たしてきた学校の功績に思いをはせながら、その歴史を振り返ります。

# ありがとう！小奴可中



東城中学校の新しい校章

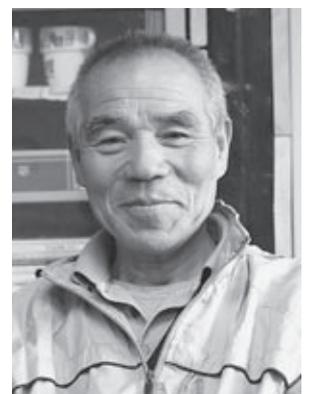
きのこ狩り、食農教育、大山供養田植え、運動会…など、小奴可中学校の特色を挙げてみると、豊かな自然を生かした教育の実践、そして地域と共に歩んだ歴史だったと思います。この歴史に幕を閉じるにあたり、これまで支えてくださった保護者や地域の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。休校になります。引き続き地域の子どもたちを見守ってほしいと思います。

1・2年生は、4月から東城中学校へ通うこととなります。本校でやり抜いたことをバネに、東城中学校へ行くことも、コツコツ、真面目に、粘り強く取り組むという皆さんの良さに磨きをかけてほしいと願っています。また、今回の統合を機に、東城中学校の校章が新しくなりました。このデザインのとおり、旧5つの校区が力を合わせ、さらに魅力ある学校づくりを期待しています。

## 小奴可中の誇りを バネにさらなる飛躍を

小奴可中学校校長  
武田信和さん

## 生き抜く力を培った 学び舎を後世に継承

休校記念事業実行委員長  
牧田繁喜さん

私は各グループに分かれて農産物の出来栄を競ったことが小奴可中学校の一番の思い出ですが、卒業生や学校関係者一人一人にさまざまな思い出があると思います。特に冬の厳しさや長距離通学、寮生活などは、多くの卒業生にとって共通の思い出となっています。

休校にあたり、生き抜く力を培った学び舎を後世につないでいくため、記念誌の発行や思い出を語る会など記念事業を計画しています。この事業の協力を卒業生に呼びかけたところ、約千人の卒業生から募金が集まりました。それほど、母校への思い入れが熱いのだと感じています。

思い出を語る会では、会食をしながら思い出に浸るとともに、地域と卒業生がつながり、新たな一歩を踏み出す元気づくりをしていきたいと思っています。

## 休校式

とき 3月22日(日) 10時30分～

ところ 小奴可中学校屋内運動場

休校記念事業 11時40分～ ●記念碑除幕式 ●思い出を語る会